

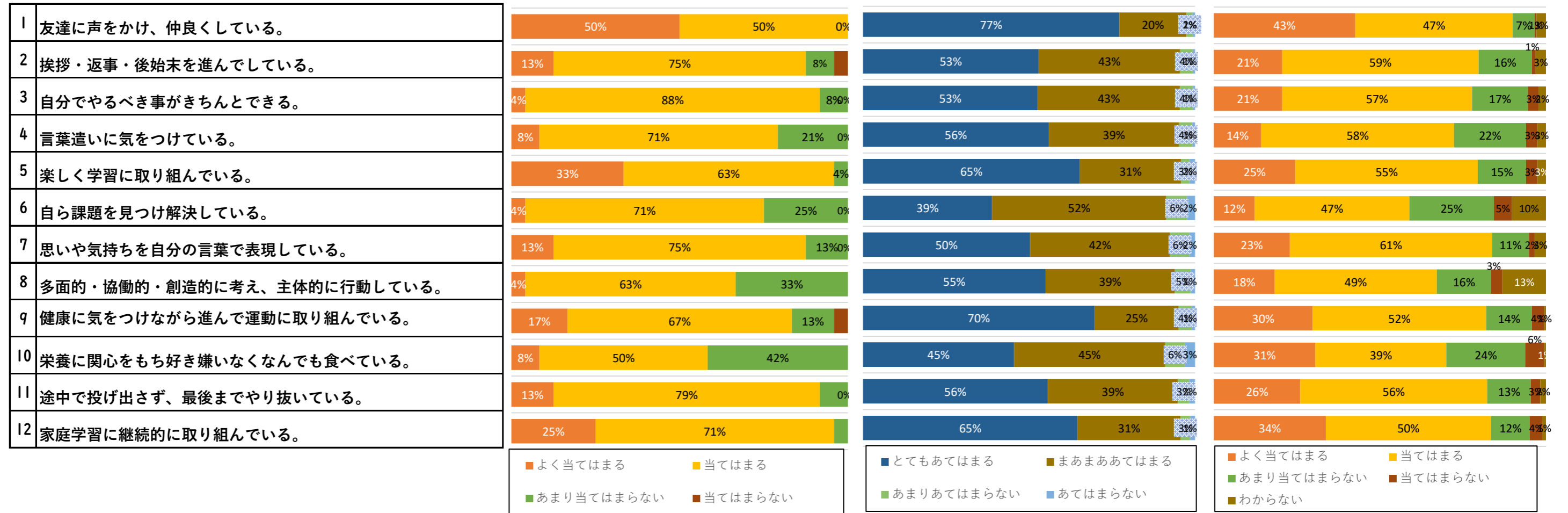
令和3年度 学校評価について

狛江市立狛江第五小学校

教職員用

児童用

保護者用



【自己評価結果】
 (成果)
 ○教師
 ・5：ICTの活用等により児童が意欲的に学習に取り組めるよう、指導の工夫を心掛けている。
 ・11：児童が粘り強く取り組めるよう指導の工夫を心掛けている。
 ・12：家庭学習とのシームレス化を図っている。
 ○児童
 ・おおむね評価は高い。
 ・1：特に児童の肯定的な意見が多い。

(課題と考察)
 教師：全体的に「よく当てはまる」が少ない。自身の取組や指導の工夫に自信をもたせていく。
 全体：保護者に対して学校での状況や取組を、分かりやすく適切に情報提供していく必要がある。
 2：保護者は挨拶・返事・後始末ができていないと感じていない。引き続き健康観察の場や学習の中での挨拶、返事の励行や、保護者と連携をして後片付けの指導をしていく。
 3・4：児童が認識している以上に、教師と保護者は自分でやるべき事ができたり、言葉遣いに気をつけているとは感じていない。引き続き相手や場に応じた丁寧な言葉遣いの指導をしていく。
 6・8：教師と保護者は、児童が自ら課題を見つけ解決していることに対し、否定的な意見がある。また、多面的、協働的、創造的に考え、主体的に行動していることに関しても課題があるとしている。
 9：新型コロナウイルス感染症予防を心掛けた上で、体力向上に向けた授業改善や休み時間の取組をしていく必要がある。
 10：食育の指導を継続していく。

【自己評価に係る学校運営連絡協議会委員の評価・意見】

令和4年度の本校の指針